

9月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
キャベツ類		15,362	102	15,477	85	94	84	-	-	群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。群馬は、日中の気温は高いものの、夜温は低く、生育は順調に経過している。また、旧盆中に適度な降雨があり、玉肥大も良好である。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をかなり下回る見込み。
だいこん		11,320	105	11,998	114	83	100	-	-	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道青森ともに、天候に恵まれ、当初の生育遅れも回復し、作柄は順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
はくさい		8,101	105	8,369	107	82	89	-	-	長野産中心で全体の約9割を占める。長野は高温と干ばつの影響で肥大はやや遅れ気味であるが、夜温の低下により生育は概ね順調。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。
きゅうり		7,388	100	7,901	321	78	250	179	2.4	福島、埼玉、群馬、岩手、秋田産が市況をリードする。福島は高温と干ばつにより一部で果形の乱れが見られるが、大きな影響はなく、入荷量は前年並みの見込み。関東産は作柄概ね順調。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年を大幅に下回るものの平年並みの見込み。
トマト		8,202	102	8,154	356	90	358	90	1.1	青森、千葉、北海道、茨城、群馬産中心の入荷となる。青森は高温による障害が一部で見られるが、着果状況は良好で、入荷量は前年並みとなる。千葉は着果、生育とも概ね順調。全体の入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり下回る見込み。
ねぎ		4,360	105	4,755	316	89	304	420	9.6	青森、北海道、秋田、山形産中心の入荷となる。青森は定植が2週間程度遅れたものの、現在平年並みまで回復し、作柄は順調。北海道は干ばつの影響により生育遅れが見られるものの、ほぼ前年並みの入荷となる。全体の入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。
えだまめ		1,204	130	1,166	603	88	667	260	21.6	秋田、山形、群馬、青森産が中心となる。秋田は作付け面積が拡大しており、入荷量は前年を上回る。山形は生育順調で、不作だった前年の150%以上の入荷となる。全体の入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。